

『小雨も ものともせず！ 体育祭』

校長 栗山 広直

5月29日、曇天の中、第50回体育祭が行われました。昼過ぎには小雨が降り出しましたが、1、2、3年生からなる縦割り8つのブロック対抗で競技やパフォーマンス、応援を競い、50回という節目に相応しい体育祭になりました。

私にとっては初めての本校体育祭、その感想を述べてみます。



・整然とした入場行進から一転、グラウンドいっぱい広がるパフォーマンスは、どの団も隊形の変化や音楽に合わせたダンス、かけ声などに工夫があり、若さ溢れるアピールに迫力がありました。団をひとつにまとめたのは、最上級生である3年生諸君と団長のリーダーシップがあったからでしょう。また、他の団のパフォーマンスを見ているときの態度、そして終わったときにエールを送る拍手はライバルでありかつ仲間だという証を見せてくれました。

・競技は、各団がこれまでの練習の成果を存分に発揮し、学年を超えて協力し合い、どの選手も精一杯力を出し切っている姿が印象的でした。

・応援にも各団の特色が良く出ていました。リズムカルな声援がグラウンドいっぱいにこだましていました。

・3年生全員での校歌合唱は、最後の体育祭だという生徒たちの思いがこもった歌声ではじまり、団長たちが2年生、1年生をグラウンドの中に呼び寄せ、全校生徒で歌う校歌大合唱となりました。第50回の体育祭を締めくくるのにふさわしいシーンでした。お腹の底から思いきり声を出して歌う校歌は青春の雄叫びのようで、岩高生ここにあり！と言っているようで、聞いていて嬉しく頼もしく思いました。

・最後の表彰では、8位から発表でしたが、順位に関係なく、暖かい拍手で互いに健闘を讃え合っていた姿はとても嬉しく思いました。それは力を出し切った自分と他者を同じ仲間としてねぎらい、讃える気持ちが込められているように感じました。

小雨が降り、肌寒く感じるような天候のなかでしたが、ご声援いただきました多くの保護者の皆様、ご来賓の皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

平成27年度目指す学校像、重点目標

平成27年度の目指す学校像・重点目標は次のとおりです。目指す学校像は、中・長期的な目標で、重点目標は今年度の目標となります。各学年・分掌等が、これらを踏まえ、さらに具体的な目標を設定し、教育活動に取り組んでいきます。目指す学校像・重点目標は、本校のホームページでも公開しています。

1 目指す学校像

確かな学力・規律ある生活態度・国際感覚を身につけた生徒を育成し、一人一人の進路希望を実現する、地域に愛される学校

2 重点目標

- (1) 一人一人を生かす学びの定着（学力の向上を目指して）
- (2) 進路指導の充実（夢の実現を目指して）
- (3) 生徒指導の充実と人権教育の推進（豊かな心の育成を目指して）
- (4) 国際理解教育の推進（国際社会で活躍する生徒の育成を目指して）
- (5) 保護者・地域との連携（信頼される学校を目指して）

岩高生 いい話

- ・ 5月18日（月）春日部市内での出来事。自転車で転びケガをした方の側をたまたま通りかかった本校2年生の埜くんが、救急車を手配し、到着するまでその方に付き添ってくれたそうです。幸い、病院での検査でも異状がなかったそうで、その方から感謝の気持ちを表した、お礼のハガキをいただきました。
- ・ 5月27日（水）学校のすぐ近くでの出来事。夕方、小学生が自宅に入れずに困っていたところ、たまたまそこを通った本校の生徒が、その小学生に飲み物をあげたそうです。その日は大変暑くて、熱中症の心配もあった日でした。小学生から話を聞いたお母さんが大変喜び、学校までお礼の電話をいただきました。

はつらつ！岩高生（第50回体育祭）

5月29日（金）、心配された天候もどうにかもち、おかげで暑くもなく、ある意味“快適なコンディション”で実施できました。生徒は、体育祭を思い出多いものにしようと、何日も前から練習を積んできました。また、競技はもちろんですが、当日の運営・審判・放送等に、体育科の先生方の指導の下、生徒が主体的に取り組み、大成功の体育祭でした。

なお、優勝は紫団（3-1、2-2、1-4）でした。



生徒理解に努めています（二者面談）

新年度が始まり、担任の先生方は、一日でも早く生徒を把握し、コミュニケーションを図ろうと、少しの時間も惜しんで、面談を実施しています。生徒との信頼関係を確立することは、とても大切なことです。

